

経営比較分析表（令和4年度決算）

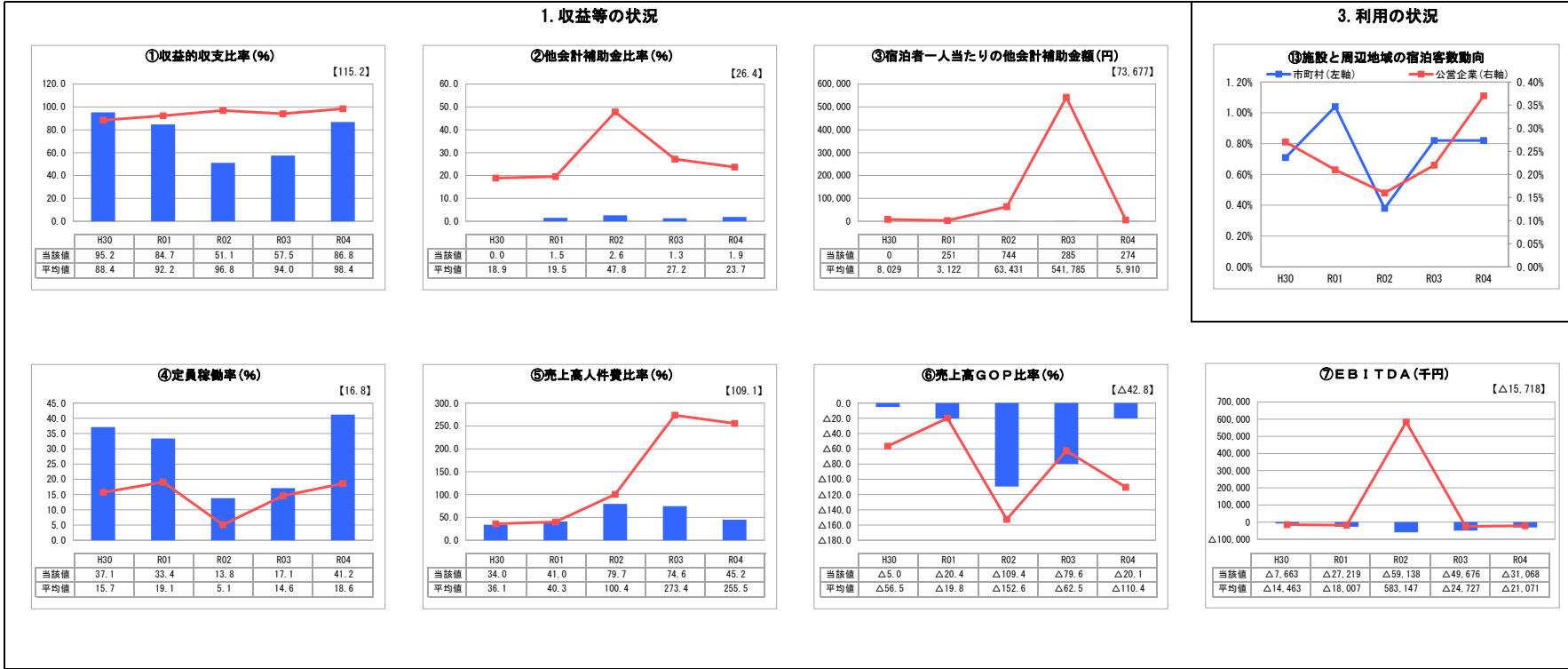
香川県さぬき市 さぬき市国民宿舎 松琴園

業務名	業種名	事業名	類似施設区分	管理者の情報
法非適用	観光施設事業	休養宿泊施設	A1B2	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	建物延面積(m ²)	宿泊定員数(人)	
該当数値なし	該当数値なし	1,019	80	

客単価(円)	指定管理者制度の導入	インターネットによる予約割合(%)
6,465	利用料金制	55.7
バリアフリー法の基準適合性	トイレ洋式化率(%)	Wi-Fi設置
無	82.8	有

グラフ凡例

- 当該施設値（当該値）
- 類似施設平均値（平均値）
- 【】 令和4年度全国平均

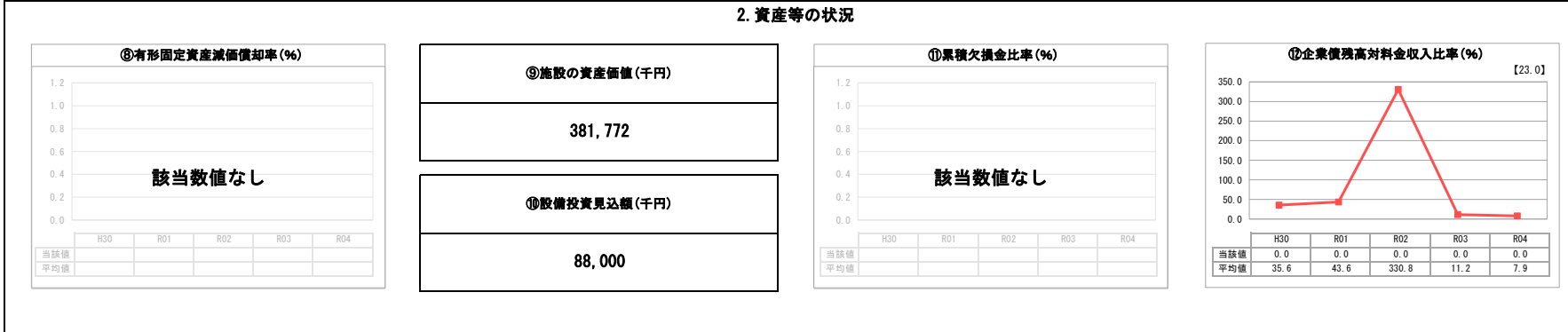


分析欄

1. 収益等の状況について
 ④定員稼働率については、インドアキャンプ等様々なプランの打ち出しにより、昨年度に比べ大幅に増加しており、①収益の収支比率についても、平均値を下回っているが、昨年度より数値は改善している。⑦EBITDAの数値においても類似団体との平均値を下回り、マイナス値となっているため、黒字化のための経営改善が必要な状況である。
 ⑥、⑦共に昨年度より改善したが、依然として平均を下回っているため黒字化に向けた経営改善が必要である。
 1つの取り組みとしてバーベキュー、うどん打ち体験、サイクルツーリズム等様々なニーズに対応するためのプランを打ち出している。施設利用者数を増やすことはもちろんであるが、様々な体験プランを利用してもらうことで客単価の向上に努めている。

2. 資産等の状況について
 当該施設は平成8年の大規模リニューアル後、20年以上経過し、施設の老朽化及び旅行者ニーズの変化に対応していく必要がある。
 施設の老朽化対策については、一般会計からの繰入金によって老朽箇所を都度修繕し、施設設備の更新需要に対応していく予定である。旅行者のニーズの変化については過去に全客室Wi-Fi整備、稼働率の低い和室の洋室化工事を実施済みであり、今後は老朽箇所（エレベーターの更新を検討）の修繕時に優先順位を勘案し、その時の流行を取り入れた施設改修を続けていく方針である。

3. 利用の状況について
 ③施設と周辺地域の宿泊客動向については、新型コロナウイルスが落ち着いたことにより、さぬき市は横ばい、県内に占める宿泊者数は増加傾向となっている。
 キャンプを始めたいが道具を揃えたり、準備片付けの手間を考えると躊躇してしまう層をターゲットにインドアキャンプが体験できるプランを作成した。室内に大型のテントを張り、フロアも人工芝、空調も完備しているので夏休みの家族連れで賑わった。天候を気にせずキャンプ気分が楽しめるということで、インドアキャンプと車中泊プランはニーズに合致したプランとなっている。



全体総括

当該施設は、国立公園内の認可事業であるだけでなく、宿泊施設が少ない当市で宿泊客の受け皿となっており、施設の必要性も高い。
 経営については、現在指定管理者制度（利用料金制）を採用し、運営企業のノウハウによって個人旅行者獲得に取り組んでいる。
 当市は、一定額以上の施設修繕や施設改修等を一般会計からの繰入金で行う前提で指定管理者制度を施行しているため、当企業会計の黒字化は当面不可能である。しかしながら、経営戦略に基づき老朽化した施設の更新需要に計画的に対応しつつ、当該施設が位置する県立公園及び周辺地域全体の観光ニーズの掘起しや周辺環境整備によって、運営企業を支援し、将来的には施設更新経費を随う制度づくりに取り組みたい。